

■6月4日(木) <気鋭の論客に聞く>

水野 和夫 (みずの かずお)

日本大学国際関係学部 教授

「資本主義の終焉と歴史の危機」



1953年生まれ。早稲田大学大学院経済研究科修士課程修了(経済学修士)後、埼玉大学大学院経済科学研究科博士後期課程修了、同大学大学院博士号(経済学)取得。元三菱UFJモルガン・スタンレー証券参与チーフエコノミスト。内閣府大臣官房審議官(経済財政分析担当)、内閣官房内閣審議官(国家戦略室)を経て、現職。著書『資本主義の終焉と歴史の危機』は経済関連の新書で2014年最も売れたとされ、経済学者、エコノミストが投票する週刊ダイヤモンド「ベスト経済書」1位に輝いた。

■6月9日(火) <文化と歴史で世界を読み解く>

千住 博 (せんじゅ ひろし)

画家・京都造形芸術大学教授

「日本の美、世界の美」



1958年 東京都生まれ。東京藝術大学大学院博士課程修了。現在までニューヨークを中心に個展、グループ展、アートフェア出品等多数。2013年には回向院障壁画を完成させ、近年は花柳壽輔、坂東玉三郎主演「プレリユード」、オペラ「夕鶴」の舞台美術を担当するなど幅広く活躍。なお、実弟は作曲家の千住明氏、実妹はヴァイオリニストの千住真理子氏。

■6月17日(水) <人の力を信じる経営>

遠藤 功 (えんどう いさお)

早稲田大学ビジネススクール 教授、株式会社ローランド・ベルガー 会長

「現場力を鍛える～「非凡な現場」をつくるために～」



早稲田大学商学部卒業。米国ボストンカレッジ経営学修士(MBA)。三菱電機(株)、米系戦略コンサルティング会社を経て、2000年に欧州系最大の戦略コンサルティング・ファームであるローランド・ベルガー日本法人へ代表取締役社長として参画、2006年より同社会長、2007年にはドイツ本社経営監査委員会のメンバーにアジア出身者として初めて選出される。現場力三部作『現場力を鍛える』『見える化』『ねばっこい経営』は計30万部のベストセラー。

■6月22日(月) <社会の問題解決に挑む>

山本 雄士 (やまもと ゆうじ)

株式会社ミナケア 代表取締役

「投資型医療という社会イノベーション」



1974年札幌市生まれ。1999年東京大学医学部を卒業後、同付属病院、都立病院などで循環器内科、救急医療などに従事。医療の諸問題を解決するにはマネジメントが必須であると考え、2007年日本人医師として始めてHarvard Business Schoolを修了。2011年に(株)ミナケアを創業。経営理論を含めた医療・ヘルスケア業界全体のシステムマネジメント化を目指す。2014年に日本起業家賞を受賞。また、教育活動として山本雄士ゼミを主宰している。